フジトランスポートが語る

「自国ファン獲得」

参戦

コフジ物流関東支店

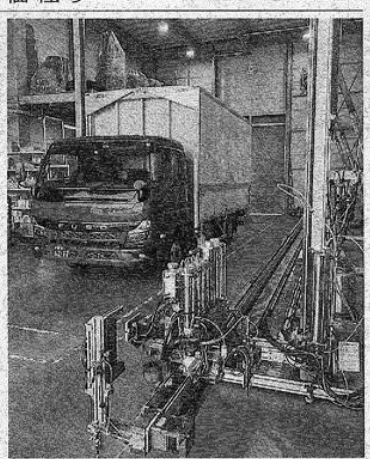
アドトラック事業を開始

ドライバーの賃金向上

コフジ物流（堂坂佳延社長、大阪府枚方市）は、関東支店（さいたま市緑区）のプリント事業部を中心に自社保有トラック300台を広告媒体として活用する新事業「KFJアドトラック」を開始した。運賃に依存しない新たな収益源を確保し、ドライバーの賃金向上につなげる。2トン車で月5万円（税別）から広告をプリントできる。

3年前、自社車両のカラーリングを変えるためオートボディプリンターを導入。未経験だった担当者も100台以上の施工実績を重ね、他社車両のプリントも受注するまでに技術を高めた。デザイン制作からプリントまでを一貫して自社で対応することで、低価格、短納期を実現する。

広告事業で得た利益は、ドライバーと広告を受注した人へ還元。武藤学常務は「給与のベースアップができる。年間100万円の賃上げも見込める」と話す。



オートボディプリンターで施工す

物流業界では今後、ドライバー確保のため給与水準の上昇が予想される。同社は荷主との運賃交渉や経費削減に加え、新たな収益源を確保することでさらなる待遇改善と人材確保を目指

同社の輸送範囲は、関東―関西の幹線輸送や関東圏、中部圏、関西圏と広い。このため、通常の輸送業務を行う車両を活用。無事故・無違反のドライバーを配置するなど、安全面にも配慮する。広告は地域のクリニックや既存顧客などを主な対象とし、酒類など運送会社のブランドイメージを損なう広告やデザインは受け付けない。

施工期間は最短2日。広告効果については、国土交通省の「道路交通センサス」による路線別交通量と高速道路各社が公表するサービスエリア・パーキングエリア利用者数を基に、独自の推計モデルで月間想定インプレッションを算出する。

さらに、全車両に導入しているGPS（衛星利用測位システム）動態管理システムを活用し、いつ、どこを走行したかといった実走行データを広告主へレポートとして提供。広告掲出後の走行エリアや稼働状況を可視化し、広告効果の把握につなげる。

（宮崎茉里奈）